

# 第3回定例町議会

平成30年9月12日から13日まで「第3回奥尻町議会定例会」が開会され、1名の議員から一般質問がありましたので、その質疑応答の概要について紹介します。

## 一般質問

### 介護職員の充足率と看護職等深刻な人手不足への対応を

人材確保は緊急の課題

工藤 勇 議員

質問

奥尻町は深刻な人口減少と高齢化が進み、特に数年後には介護職や看護職など必要とされる人材が不足すると言われております。

その理由として「賃金が低い」「仕事がつらい」「休みがとりにくい」などが大

半を占めています。

このような医療現場や福祉現場の働き手不足を受け、行政や福祉団体が対策に乗り出していますが、抜本的な解決は見つかっていません。高齢化や人口減少が著しい現状から人材の確保は緊急の課題と考えますが、町長の具体的な対策をお聞きかせください。

情報収集し対策を検討

新村 卓実 町長

答弁

本町では国保病院等に勤務する医療従事者に対する

修学資金助成事業は実施していましたが、民間の福祉事業所等の従事者に対する助成はなく、そのため「奥尻福祉人材育成事業」を創設し、福祉事業所等に従事する人材の確保を図ってまいりました。



また奥尻福祉会との協議では、具体的な対策として

町内での定期的な募集チラシの配布、ハローワークによる求人募集、求人広告サイトへの登録、人材確保相談会への参加による勧誘などで、さらに国の処遇改善事業による介護職員の給与の引き上げや引越費用

の助成、夜間宿直手当の引き上げなどを検討するとう内容であり、町においても国や道の動向や他市町村の情報収集をしながら対策を検討したいと考えております。

今後とも町民の声を把握していく

新村 卓実 町長

答弁

町長に就任以来、二度の町政懇談会を開催した経緯はありますが、各町内会長の参加数の低下もあり、町内会連合会からの申し出で同様の形式のもの行っておりません。

しかし、特定の課題に対する意見や要望は各種部会や会議、期成会、また商工会や観光協会との代表や総会の場で意見を交えるなど相互協議し町政運営に反映してきたところです。

今後このような場面で町民の声を把握していきたいと考えております。

# 町政懇談会や町政報告会の開催は

町政懇談会・報告会で町民の声を

工藤 勇 議員

質問

町長は3期目の町政を執行中ですが、町政懇談会や報告会は一度も開催していません。

施政方針でも課題解決の

ために「町職員と英知と力を結集し厳しい状況に活路を見出していく」と明記していますが、その前に町民の声を充分取り上げたうえで町政を執行し、その経緯を報告するのが本来の考えだと思います。

今後、行政や病院への提案や不満など町政執行の基本である町民の声を広く聞く考えはあるのでしょうか。

## お願い

議長宛の文書や案内状などは、議長の公務日程上の調整をする必要がありますので、議長の私宅に送付しないで、直接、議会事務局に差出人等を明記のうえ、送付してください。

なお、期日、期限等があるものについては、早めにお願います。

◇送付先 奥尻町字奥尻806番地  
奥尻町議会議長 宛